

プレゼンテーション検定制度

プレ検はいつでも、どこでもオンライン受検！



※プレ検[®]はプレゼンテーション検定の略称です



一般社団法人
プレゼンテーション検定協会
Association of Certificate Examination for Presentation since 2016

INDEX

プレ検をお勧めする3つの理由	1
プレ検に合格すると得られる7つのメリット	2
受検の流れ	3
プレ検は6段階	4
検定一覧表	5
受検データ	5
受検者の層	5
受検者の声	6
受検の準備方法	7
公式テキストで合格率アップ	7
合格へのサポート体制	8
試験官の紹介	8
団体受検のお勧め	9
団体受検の3つのメリット	9
団体受検の特典	10
社内資格制度への導入	10
企業担当者の声	10
団体受検の流れ	11
効果的なプレゼンテーション教育	12
質の高い講師と柔軟なプログラム	13
学校教育への導入と活用	14
学校での導入事例	14
オンライン授業	15
プレゼン出張授業／出前講座	15
授業／講座の実施プログラム概要実績	15
協会の概要	16
よくあるご質問	17
代表理事のご挨拶	18

プレ検はいつでも、どこでもオンライン受検

■プレ検をお勧めする3つの理由

1. いつでも、どこでもオンライン受検

プレ検は、申込から受検、合格発表まで、すべてオンラインで完結！

深夜に自宅でゆっくり受検、可否結果は通勤途中にスマホで確認など、一人ひとりのライフスタイルにあった受検方法が可能です。しかも、毎月受検期間を設けているので、次の級へチャレンジしたい方も、翌月の受検回へすぐにお申込みいただけます。会場まで足を運ばずお好きな場所とタイミングで受検ができる、現代の生活様式にマッチした資格です。

いつでも、どこでも
オンライン受検

2. 確かなプレゼン力が身につく

プレ検とは、あなたの「伝える力」「コミュニケーション力」を見える化するために生まれた検定です。「人前で話すことが苦手」という方でもプレゼン力を高められるよう、正しい知識、技術、方法論に基づいて作られています。

プレ検を受検し確実に合格するためには、公式テキストをもとにプレゼンテーションについての体系的な理論と技術を学びます。表面的なテクニックや話術、資料の作り方だけでなく、もっと基本的な伝えるための「考え方」「知識」「能力」を習得します。

信頼できる
実績

確かな
プレゼン力

3. 信頼できる実績

プレ検は2007年に創設し、2024年には受検実施数が170回を超えます。また、公式テキスト「パーフェクト・プレゼンテーション」も同じく2007年に初版、多種多様な企業や学校教育の現場でプレゼンテキストとして活用されています。

長年、官公庁や企業、教育界において指導に従事してきた講師陣がプレ検試験官を担当しているため、その支援実績は確かです。

流行りのかっこいいだけのプレゼンを目指すのには自分には向いていない、確実に成功するプレゼンがしたい、という方々にこそ、プレ検をお勧めします。

■ プレ検に合格すると得られる7つのメリット

1. 努力が認められる

プレ検に合格し、あなたが手にする合格証書は、単にプレゼン力を証明できるだけでなく、あなたが目標を立て、それに向かって努力し、達成できる人と評価される証です。

2. 求められる人になれる

プレ検に合格したあなたは、相手の立場に立って“自分の考えをしっかりと伝える技術”を身につけています。このスキルを実践すると、相手が求めていることを掴み、伝え、伝わり、求められる人になっていくでしょう。



3. 自己実現につながる

プレゼン力は自己表現の必須スキルです。プレ検に合格して、思考力、調査力、分析力、課題発見力、戦略立案力、構成力などを携えたあなたは、このスキルで自己実現につなげることができるはずです。

4. 仕事のキャリアアップにつながる

プレ検取得の成果を日々の業務で発揮できるあなたは、仕事力も十分にアピールしています。人事異動や業務内容の変更、昇進昇格など、自分が考える以上の仕事に発展・挑戦できるチャンスにつながります。

5. ビジネスチャンスが広がる

プレ検を取得したあなたの堂々とした説得力のあるプレゼンに、聴き手は「イエス」と言うでしょう。その結果、あなたのビジネスチャンスはどんどん広がっていきます。

6. 対人関係が円滑になる

プレゼンでは、あなたが話したいことを伝えるよりも、聴き手が聴きたいことを伝えなければなりません。プレ検を取得したあなたの話は、“わかりやすく”“おもしろく”“楽しく”、相手は「もっと聞きたい」と思うはずです。

7. 人生が豊かで楽しくなる

誰も生まれながらにして、説得的で論理的でユーモア溢れるプレゼンができるわけではありません。プレゼン学習を通しプレ検を取得することで、あなたは、夢を実現し、充実した日々幸せを感じることでしょう。

■受検の流れ

インターネットにつながったパソコン/スマートフォン/タブレットで・・・



ユーザー登録から合否確認まで 5ステップ!

受検の申し込みは、「公式サイト」のマイページのアイコンをクリックしてアクセスします。

その後は画面の案内に沿って手続きをおこなってください。

公式サイト：<https://preken.jp/>

マイページ：<https://preken.jp/exam/user/mypage/>

STEP1:ユーザー登録

- ・はじめの方は、新規ユーザー登録をお願いします。
- ・登録後に届く電子メールで、マイページへログインできるIDが確認できます。
- ・マイページをお持ちの方は、IDとパスワードを入力してログインができます。

STEP2:受検申込

- ・画面に表示される受検可能試験一覧から、設定した「等級」と「受検期間」を選択してください。
- ・「個人受検の方」または「団体受検の方」のページが表示されます。
- ・表示される画面に沿ってお申し込みください。

STEP3:検定料支払

- ・受検申し込み時に選択したお支払い方法にてお支払いください。
- ・クレジットカードとコンビニを選択の方は、決済代行会社（GMOペイメントゲートウェイ株式会社）のサイトで手続きが必要です。
- ・事務局で入金確認後、マイページは更新されます。

STEP4:受検

- ・ご希望の受検期間になりましたら、マイページに表示される「試験を開始する」をクリックすると、受検を開始できます。
- ・公式サイトから受検の推奨環境を確認し、適した環境にて受検をしてください。



STEP5:合否確認

- ・受検期間が終了した翌週の水曜日以降に、マイページで合否が確認できます。
- ・合格の方は、マイページから「合格証書」が出力できます。
- ・「合格証明書」（有料）はマイページから発行申し込みができます。
- ・不合格でも、すぐにマイページから再チャレンジの受検申し込みができます。

■ プレ検は6段階

プレ検は準3級から1級まで6段階あります。ご自身のスキルに合わせて受検級を選んでください。準3級から順番に受検すると、プレゼンテーション力が向上していく達成感を得られます。また、準3級/3級/準2級はどの級からも受検できます。

「プレゼンって何？」と思う方は準3級からスタートしましょう。これまでに社内や学内など人前でのプレゼンテーションをおこなったことがある方は3級から受検されるのも良いでしょう。研修や授業でプレゼンテーションを学習したことがあり、ある程度の自信がある方は準2級に挑戦するのも良いかもしれません。

1級	<p>【能力】 プロフェッショナル・プレゼンターとして、目標達成の精緻な戦略を立案できる。 難度の高いコンテンツのシナリオ化とビジュアル化ができ、相手の状況に合わせて表現力豊かに伝達できる技能を有している。</p> <p>【こんな方におすすめ】 プレゼンテーションが職業の方、プレゼン講師を目指す方</p>
準1級	<p>【知識】 プレゼンテーションについて広範囲な知識を有し、その深い理解とともに応用力のある伝達技術を有している。</p> <p>【こんな方におすすめ】 プレゼンテーションを頻繁におこなう方、教える仕事をしている方</p>
2級	<p>【能力】 プレゼンテーションの目標を達成するための戦略を立てることができる。 論理的なシナリオを構築でき、説得力のある伝え方ができる。</p> <p>【こんな方におすすめ】 プレゼン力を強みにしたい方</p>
準2級	<p>【知識】 説得力のあるプレゼンテーションを行うための必要十分な知識を有している。</p> <p>【こんな方におすすめ】 プレゼンテーションをする機会が多い方</p>
3級	<p>【能力】 一般的な内容のプレゼンテーションを行うための準備の仕方やシナリオの組み立て方、伝達のノウハウを習得している。</p> <p>【こんな方におすすめ】 仕事や授業でプレゼンテーションをする方、面接試験を受ける方</p>
準3級	<p>【知識】 プレゼンテーションを行うための基本的な知識を有している。</p> <p>【こんな方におすすめ】 プレゼンテーションの学び初めの方</p>

■ 検定一覧表

級	受検方法	検定時間	出題範囲	合格点	受検資格	受検料 (税込)	難易度
1級	オンライン受検 実技試験 面接試験 論文試験	実技:10分 面接:10分 論文:制限なし	公式テキスト全般 一般常識 時事問題 ※テーマは当日出題	各80点以上	準1級合格者	16,500円	★★★★★★
準1級	オンライン受検 記述式50問	60分	公式テキスト全般 一般常識 時事問題	80点以上	2級合格者	11,000円	★★★★★
2級	ファイル提出 実技試験 (動画・シナリオ) 論文試験	動画:5分以内 論文:3~5枚 (指定書式あり)	公式テキスト全般 一般常識 時事問題 ※テーマは 受検期間中に 出題	各80点以上	準2級合格者	11,000円	★★★★
準2級	オンライン受検 4択50問	45分	公式テキスト全般	80点以上	制限なし	7,700円	★★★
3級	オンライン受検 4択50問	30分	公式テキスト全般	70点以上	制限なし	5,500円	★★
準3級	オンライン受検 4択50問	30分	公式テキスト全般	70点以上	制限なし	3,300円	★

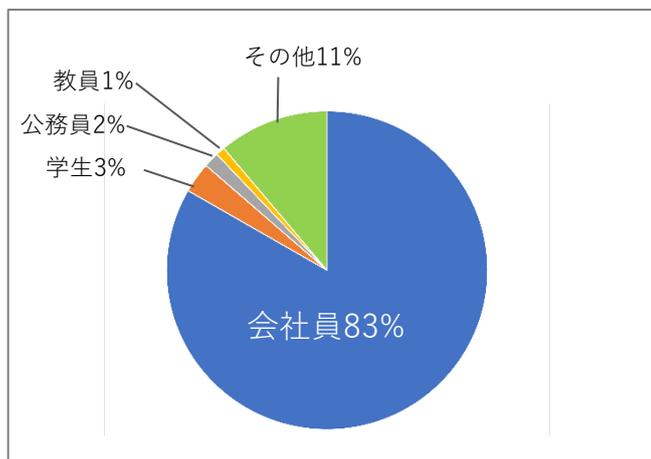
■ 受検データ

合格点と平均点
(2016年12月～2024年2月)

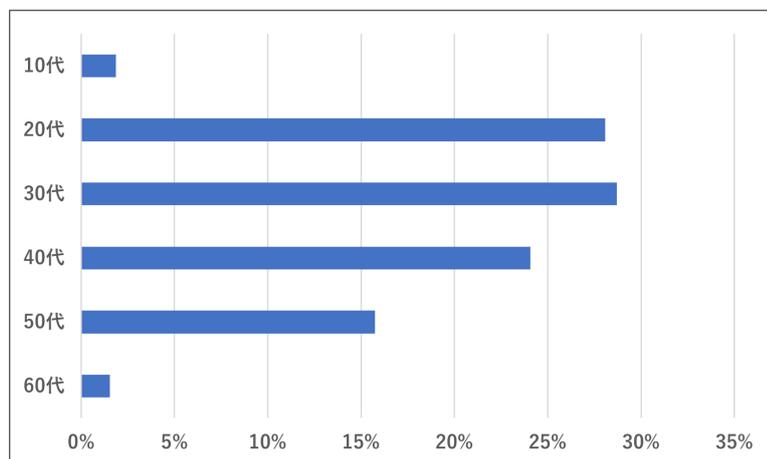
	準3級	3級	準2級	2級	準1級
合格率	85.4%	79.9%	57.5%	43.5%	18.2%
平均点 (合格点)	80.2点 (70点)	77.8点 (70点)	80.0点 (80点)	78.1点 (80点)	63.7点 (80点)

■ 受検者の層

受検者の職業比率(2024年現在)

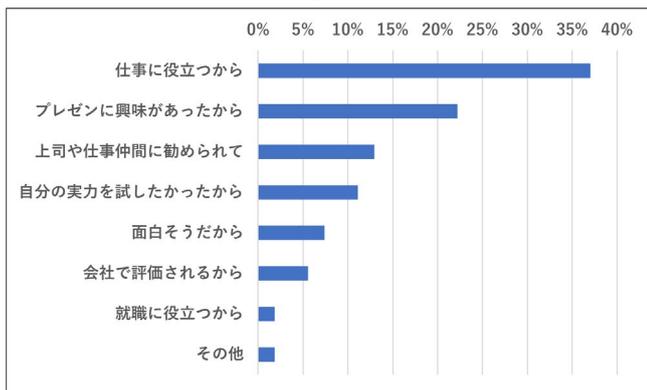


受検者の年代(2024年現在)

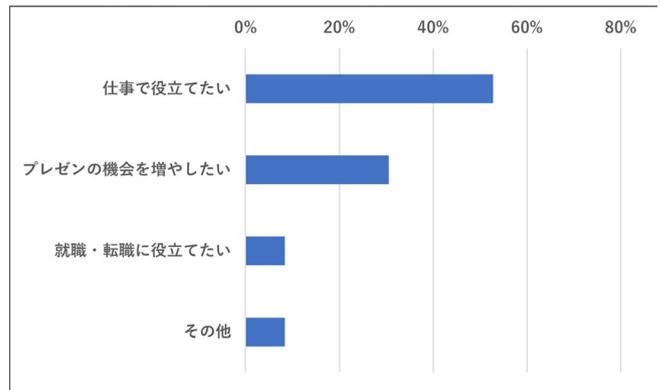


■ 受検者の声

Q.プレ検を受検する決め手となったことは何ですか？



Q.プレ検の資格をどのように活かしたいですか？



受検対策講座を受講 (2級合格 佐々木 明日翔様・会社員)

2級受検に向けては、受検対策講座を受講しました。受検対策講座では現時点の自分のプレゼンの評価をしてもらい、内容のフィードバックを受けられたので、出来ていない部分が明確にわかりとてもありがたかったです。



プレゼンテーション能力の確実な向上が期待できる (2級合格 久本 康司様・会社員)

プレ検で学んだところは、自身のプレゼンテーション能力の確実な向上が期待できる要素ばかりです。



テキストを徹底的に読み込むのが合格の近道 (2級合格 高橋 朋寿様・会社員)

2級は難しかったです。テキストを1ヶ月ほど読んで合格しました。公式テキストを徹底的に読み込むのが合格の近道です。



プレゼンが上手になったと言われるように (3級合格 山本 昂平様・大学院生)

プレゼンに対する基本的な心構えは身につけることができました。周囲からもプレゼンが上手になったと言われるようになりました。



人のプレゼンが気になるようになった (3級合格 砂川 智己様・会社員)

プレゼンのスキルを上げたかったため受検しました。受検後、人のプレゼンが気になるようになったり、聴き手主語で話すようになりました。



プレゼンのポイントを押さえていました (準3級合格 M様・公務員)

人に伝える方法は自分で考えているものとは違います。全てをマスターしなくても考え方を理解しているだけで仕事に役立ちます。



「必ず役に立つプレゼンスキル」

プレ検準1級/2級合格 菅田 清さん (公務員/男性/50代)

仕事に役立つことを期待してプレ検受検に臨みました。実際に受検してみて難しいと感じました。特に2級の動画を撮影するための、プレゼンに適した場所を見つけるのに苦労しました。プレゼンは、学べば学ぶほどできることが多く、学べば学ぶほど新しい発見があります。すべての場面で使う必要はないと思いますが、ここぞというときには、必ず役に立つのがプレゼンスキルです。あきらめずに受検すれば必ず合格します。是非、挑戦し続けて欲しいと思います。



「必要不可欠なスキルの一つがプレゼン能力」

プレ検2級合格 栗谷 涼太さん (会社員/20代)

銀行の人事部配属になり、人に発信する機会が多いためプレ検を受検しようと考えました。受検した感想としては非常に面白く奥が深い試験だと感じました。21世紀の社会において、必要不可欠なスキルの一つがプレゼン能力だと思います。受検するからには合格。そして1級へ！私もこれから受験する皆さんと共に頑張ります！



「プレゼンの仕方を学習したかしてないかは大きな差」

プレ検3級合格 名嘉真 朝泰さん (会社員/20代)

相手にちゃんと理解してもらえようという伝え方を習得したかったためプレ検を受検しました。受検をしてから、プレゼン時に意識するポイントが変わり、プレゼンの事前準備を入念に行うようになりました。プレゼンの仕方を学習したかしてないかは大きな差です。プレゼンする機会は誰にでもあり、1度学習するだけで、今後の人生が違ってくると思います。

■ 受検の準備方法

プレ検は各等級ごとに検定試験の目的や内容、必要な知識や能力が異なります。それぞれ受検される等級に合わせた準備をしましょう。

準3級、3級検定を受検する場合

我流や見よう見まねのプレゼンを基準に解答すると、間違える可能性があります。

受検に向けて基本から学ぶ必要があります。検定試験では、プレゼンの基本的な知識をマスターできているかを問います。公式テキストを精読するとよいでしょう。

準2級、2級検定を受検する場合

準2級では、プレゼンの知識を評価されるのではなく、プレゼンに対する考え方が問われます。

暗記するのではなく、「なぜだろう？」と自問自答しながら公式テキストを熟読しましょう。

2級の論文試験では、プレゼンを行う際に必要な心構えが論文のテーマになります。公式テキストの丸写しでは合格しません。他の文献や自らの経験を踏まえた内容が必要です。

2級の実技試験では、実際にプレゼンが正しく行えるかどうか採点されます。単に頭で分かっているのではなく、身体で実行できる練習が必要です。

準1級、1級検定を受検する場合

準1級は記述式の試験ですからプレゼンに対する自らの意見を明確にもっている必要があります。

日頃からプレゼンに対する考え方を確立しておきましょう。

1級では、実技試験、論文試験、面接試験があり、プレゼンの基本に則った総合的な力が問われます。プレゼンの知識や能力に加えて、さまざまなケースに対応できる応用力が評価されます。

■ 公式テキストで合格率アップ

プレ検公式テキスト『パーフェクト・プレゼンテーション』 定価3,300円(税込)

著者は、日本におけるプレゼンテーションの先駆者であり第一人者の八幡紘史（プレ検創設者）。プレゼンテーション書籍の決定版！第1版は1995年。

これまで多くの読者を獲得し、大学・各種学校でも教科書として導入されています。

合格を確かなものとするためには、「公式テキスト」で学習されることです。これまでの実績から、合格者の約60%以上の受検者は事前に公式テキストで学習しています。

購入方法：Amazon もしくは プレ検サイトからお求めください。



合格へのサポート体制

プレ検の受検準備にさまざまな学習方法を用意しています。
 専門家の指導、チーム学習など、効率的かつ効果的な方法で受検に備えることができます。

学習サポート	内容	形式
個別相談	プレ検の試験官やプレゼンテーションの専門家がお悩みへアドバイス -合格への学習方法が知りたい方 -受検結果へフィードバックがほしい方 -プレゼン嫌い(苦手)を克服したい方	オンライン
個別添削 (シナリオと三部構成)	プレ検2級と1級の実技シナリオや三部構成を試験官が個別に添削 -受検をした実技試験のシナリオや三部構成が対象 -再受検の前の活用がお勧め	電子メール
個別コンサル (トレーニング)	プレ検合格や重要なプレゼンテーションの成功へ、プレゼンテーションの専門家が一対一で指導 -3P分析、プレゼン戦略、三部構成、シナリオ、アウトライン、テリバリー、スライドなど -プレ検2級以上の実技試験、論文試験、面接への対策として -実際のプレゼンテーションの状況に基づいた個別プログラムを提案	オンライン 対面
受検対策講座	<3級/準2級/準1級> -公式テキストを基にした、各級の対策講座 -自主学习での理解度を客観的に確認し、不足している知識を補う -模擬テストと解説、不明点の質疑応答、三部構成の演習 <2級/1級> -実技試験、論文試験、面接試験の受検準備に特化 -実演と講師からのフィードバックとアドバイス -論文の実例紹介	オンライン 対面
ワンポイントレッスン	<準3級/3級/準2級/2級/準1級> -初めてプレ検受検を検討中の方が対象 -過去問から1問を解説 -10分程度のオンライン講座(無料)	オンライン

試験官の紹介

脇谷聖美先生 人財育成コンサルタント／一般社団法人プレゼンテーション検定協会 代表理事
 “プレ検”創設の一員。プレゼンテーション伝承者として社会人、学生、児童、シニアと幅広い世代へ伝える力の向上に従事。採点では構成力と表現力を重視。受検対策や補講を担当し合格への先導者。
 旧・特定非営利活動法人国際プレゼンテーション協会 副理事長

【協力】 ■県立小学校教諭(高学年/情報教育、理科) *プレ検準1級合格
 大学のプレゼンテーション科目の非常勤講師/旧・特定非営利活動法人国際プレゼンテーション協会 理事

■県立高等学校教諭(嘱託) *プレ検2級合格
 IPS認定プレゼン講師/旧・特定非営利活動法人国際プレゼンテーション協会 会員

他、IPS認定プレゼン講師が担当します。講師陣の本職は、大学教授、学校教員、弁護士などです。

■ 団体受検のお勧め

● 社員のプレゼンテーション力が業績を左右する

社員のプレゼンテーション力が業績を左右する時代になってきました。競合に打ち勝って受注率を上げたい、技術力をアピールしたい、ブランド力を高めたい、社内のコミュニケーションを活性化したい、また、自己啓発を奨励し社員のプレゼンテーション力を底上げしたいなど、プレ検団体受検はそんな企業や団体のご要望にお応えします。



■ 団体受検の3つのメリット

● 人財力と組織力を高めるプレ検団体受検

団体受検は企業、団体、学校などで一定数以上の受検申込者でご活用いただける制度です。

団体受検には次の3つのメリットがあります。

1 社員のプレゼン力を見える化

プレ検を導入することによって、コミュニケーション力、プレゼンテーション力など可視化しにくい社員の顕在能力や潜在能力を、客観的な基準で評価することができるようになります。また、他との比較をすることができ、自社の社員のレベルを明らかにすることができます。さらに、プレゼンテーション教育の効果を定量的に把握することができ、学習効果を測定することも可能です。

2 オンライン受検で仕事の効率化

プレ検は受検もオンラインで完結します。会場まで足を運ぶ時間や費用、労力をかけることなく、また、慣れた環境にて落ち着いて受検ができるため、多忙な社員の方々には、業務の妨げにならない受検方法です。

※準3級・3級・準2級は4択／準1級は記述式

※2級は論文と実技のデータ提出による選考

※1級は実技・面接試験をオンラインで受検、論文のデータ提出

3 教育／自己啓発目標の定量化

各社員が、自身のプレゼン力をどの程度高めるべきか、学習の目標設定がしやすく、また、企業側はプレゼン学習の目標達成を数値化し、把握することができます。

■ 団体受検の特典

● 団体受検の適用条件

年間の受検者が累計10人以上
※詳しくは事務局へご相談ください

● 団体受検の特典

- ・ 団体登録ページ
- ・ 級ごとに受検者の一括申し込みが可能
- ・ 担当者が受検結果を確認できる
- ・ 受検結果の一覧のダウンロードとレーダーチャート（傾向）が確認できる
- ・ 検定料の一括請求書発行によるお支払い
- ・ 受検対策講座の企画について直接事務局との相談が可能

● 団体独自で講座開催(有料)

プレ検攻略セミナー、受検対策講座、受検アドバイスなどの独自開催

受験ID	名前・字順	所属会社名	点数	状況
1111111111	鈴木太郎	株式会社ABC	75	合格
1111111112	田中花子	株式会社DEF	70	不合格
1111111113	佐藤一郎	株式会社GHI	80	合格
1111111114	山田健二	株式会社JKL	78	合格

■ 社内資格制度への導入

● 多くの企業や団体では、人材育成の一環として「社内資格制度」を設けています



現在、多くの企業や団体では、社員に社外の検定試験を受検し資格を取得することを奨励したり、目標管理制度におけるスキル向上目標として設定をするなど、人材の底上げをする社内資格制度を設けています。また、資格を取得した社員に待遇処置を講じるなど社内の活性化のための施策として導入されています。社内資格制度により、社員の目標達成のためのモチベーションを高めることができ、社員個々のスキルの現状把握ができ、計画的な人材開発・人材育成が可能になります。

■ 企業担当者の声

● A社（総合電機メーカー）

実務で結果を出せる能力のひとつがプレゼンテーション力と位置づけ、事業部としてプレゼンテーション力育成に取り組んでいます。プレ検は教育研修の効果を測定する物差しとして活用しています。2級取得者の目標人数を設定し、年間計画を立てて受検を奨励しています。また、この取り組み成果より、全社員対象の「社内推奨資格」として認定されました。

● B社（IT企業）

プレゼンテーション力向上とその評価システムとして「プレゼン研修」+「プレ検」を導入し、社員の自己啓発を促し成果を上げています。

● C社（不動産会社）

プレゼンテーション力を接客の重要な能力としてプレ検の資格を導入しています。プレ検の資格取得者には、毎月「資格手当」が支給されます。

● D社（OA機器総合商社）

プレ検を社内推奨資格のひとつとして導入しており、取得者は名刺へ資格を記載しています。

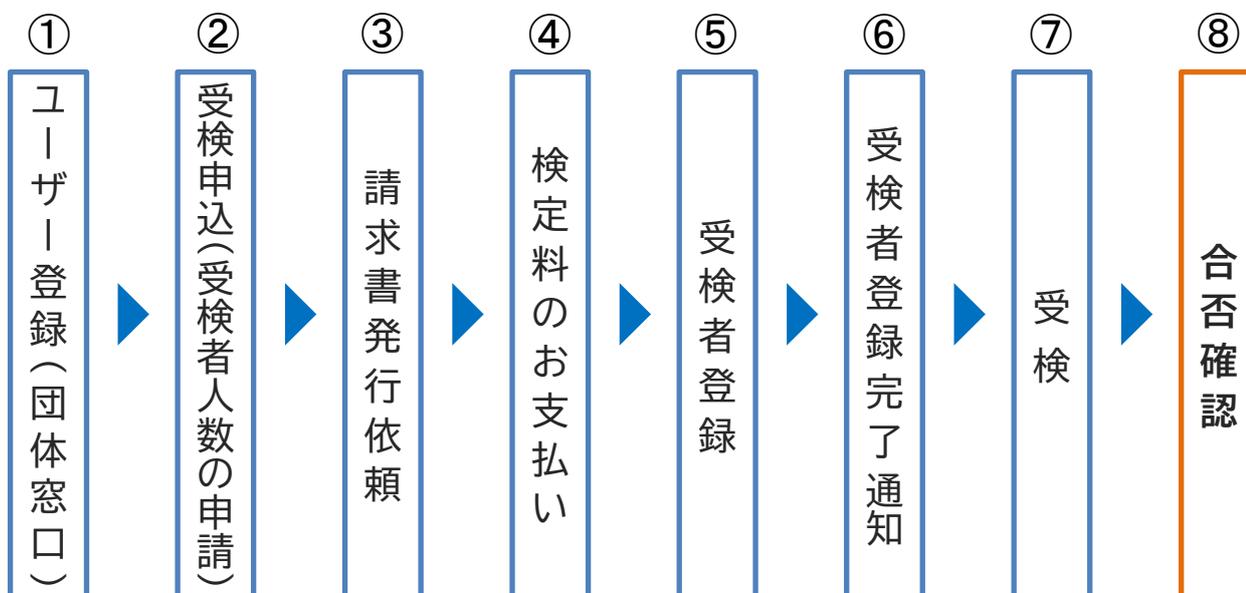
● E社（OA機器販売会社）

提案支援要員の必須能力として位置づけ、配属者にプレ検の資格取得を啓蒙しています。

● F社（総合設計会社）

プレ検の資格を取得した社員は、会議や社内プレゼンなどで意識が変わったと感じます。今後も営業や顧客対応、日頃の報告など、プレ検によって得た知識を活かしてほしいと思います。

■ 団体受検の流れ



- ① ユーザー登録で団体窓口のマイページをつくる
- ② 級ごとに、受検者人数を申請する
- ③ 検定料の一括請求書発行の有無を選択
※有りを選択:数日内に、運営事務局より請求書(PDF)をメール添付
- ④ 請求書に基づいて検定料を銀行振込する
※振込手数料はご負担、支払期限は受検期間の申込締切日
- ⑤ 団体窓口のマイページから受検者を登録する
※登録画面に情報入力、またはテンプレートで一括登録
- ⑥ 登録した受検者へログイン情報などを自動配信メールが送信される
- ⑦ 受検者マイページから各自が受検する
- ⑧ 団体窓口のマイページから合否一覧で受検結果を確認する

⚠ 団体受検の注意点

- 団体受検は、回ごとまたは年間で一定数以上の受検者が見込まれる場合にご活用いただけます。
※詳しくは事務局へお問い合わせください。
- マイページ用の「ログインID」「パスワード」の漏えいがないよう厳重に管理・運用してください。
- 団体担当者は受検者の個人情報、他人に漏えいしないよう厳重に管理してください。万が一、団体担当者の過失による遺失、漏えい等の事故が発生した場合でも、当協会は一切責任を負いかねますので予めご了承ください。
- 団体担当者は予め、合否一覧が団体担当者宛に提供されることを周知し、必ず受検希望者の同意を得た上で申し込み手続きを行ってください。
- 合否一覧の提供に同意をされない受検希望者については、個人受検で各自申し込みを行っていただくようご案内ください。
- 一度に複数級のお申込みはできません。各級ごとにお申込みください。
- 団体受付完了メールが届き、お申込受付が完了した後のキャンセル(人数を減らす)や次回検定への振替、受検級の変更はできかねますのでご注意ください。

■効果的なプレゼンテーション教育

●プレ検との連動で効率的/効果的な教育

企業や団体の教育担当者から、プレゼン教育を実施しても本当に社員のプレゼン力が向上したかどうか分からない、他社と比べて自社の社員のプレゼン力がどの程度のレベルにあるかわからない、多額の費用を使っているが教育の投資効果が見えないなど、多くの問題が指摘されます。

これらの問題を解決するには、単にプレゼン教育を実施するのではなく、プレ検と連動させた教育を行うことです。たとえば、社員はプレゼン教育受講前に公式テキストを活用した事前学習をおこない、プレゼン教育ではスキル向上のトレーニングを受け、教育実施後にプレ検を受検し資格を取得する。

これにより、社員のプレゼン力を定量的に測定することができ、自社の社員のプレゼン力を他社と比較でき、さらには、教育への投資効果を明らかにすることができます。



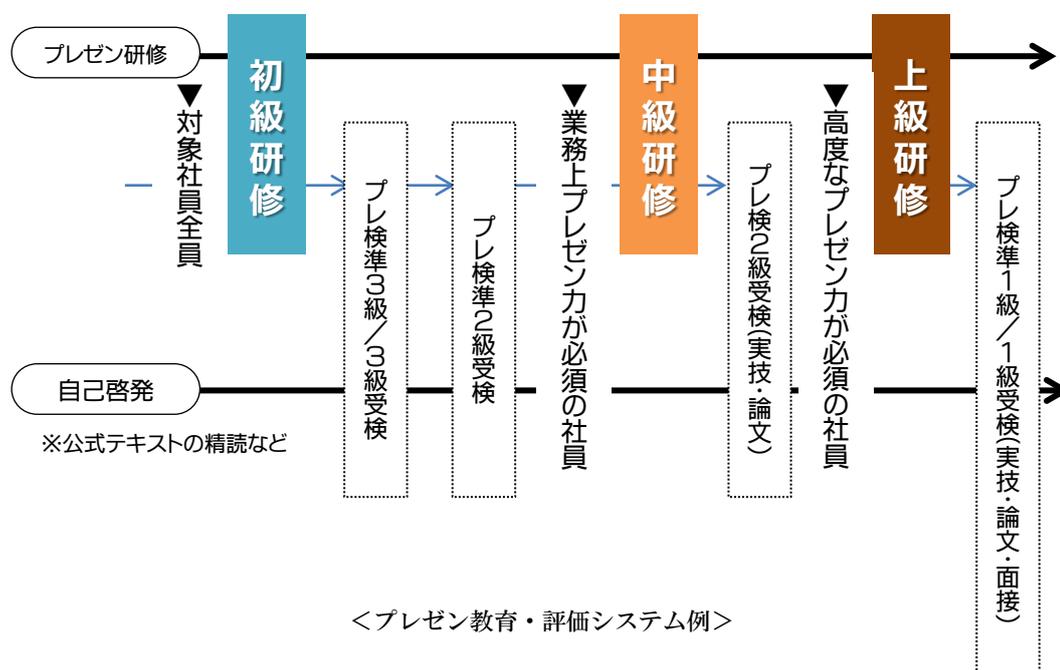
●体系的なプレゼンテーション教育・評価システム

プレ検とプレゼン教育を連動させることにより、全社的な教育体系を効率的に組み立て実施することができます。

たとえば、基礎的なプレゼンスキルが必要な社員、業務上プレゼン力が必要な社員、高度なプレゼン力を求められる社員など、それぞれに目標プレ検取得級数を設定し、それに合わせて効果的な教育を展開することができます。

社員にとっては、それぞれのプレゼン力のレベルに合わせた研修プログラムを受講することができ、段階的にレベルアップすることができます。

また、プログラム内容は一般社員向けから、管理職、経営幹部まで、営業、マーケティング、企画、エンジニア、研究開発などに携わる社員の方に向け幅広く用意しています。また、企業の状況、担当業務に合わせたプログラムやカリキュラムをカスタマイズいたしますので、お気軽にお問い合わせください。



■質の高い講師と柔軟なプログラム

仕事が多様化し複雑化すると、社員に求められるプレゼン力は高度になります。

単に話せば伝わるという考えでは効率的な業務遂行は実現しません。プレゼンの理論と技術で武装し効果的な伝達技術をつけ、社内的にも対外的にもアクティブに発信していく必要があります。

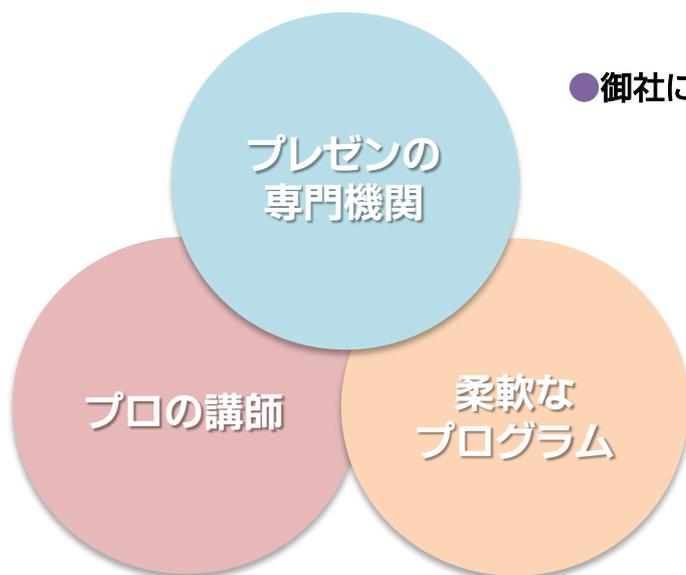
それに合わせて、必然的にプレゼン教育も高度化してきています。プレゼンのハウツーを寄せ集めた研修や身振り手振りだけを教える研修では、御社の業務に耐えうるプレゼン力は身につけません。

プレゼンテーションの教えるコンテンツと教えるノウハウを修得したプロフェッショナル講師が、企業と協業しながら柔軟にプログラムを立案し、教育を進めていく必要があります。

●安心してお任せください…プレゼンテーションの専門機関です

専門機関として多くのプレゼンの理論や技術の研究・開発・蓄積をおこなってきています。また、関連団体の国際プレゼンテーション協会とも連携をして、各分野のプレゼンに関する研究活動をおこなったり、認定プレゼン講師資格制度を制定し、プレゼンの質と指導技術の向上に注力しています。これにより、御社の社員の方々は信頼性の高いプレゼン技術を学んでいただくことができます。

企業、省庁、自治体、大学、医療界、法曹界、社会福祉団体、国際機関などで多くの実績を上げていますので、御社の教育を安心してお任せください。



●御社に最適なプログラム…柔軟なプログラムです

御社の状況に合わせた教育プログラムを提供します。実際のプレゼン業務の状況を教育プログラムにシミュレートし、臨場感あふれる教育を実施します。それにより、社員の学習意欲を高め、現場で即活用できるスキルを修得することができます。

協会の人事コンサルタントが御社に最適なプログラム作りをお手伝いします。お気軽にお問い合わせください。

●質の高い教育…プロフェッショナル講師が担当します

御社の教育を担当する講師は、協会が認定するプレゼン講師資格制度に基づく資格を有しています。プレゼンに対する基本的な考え方、知識、能力はもちろんのこと、プレゼンのベスト・サンプルとして講義・対話型講義、トレーニング技法、インストラクショナル・デザイン、フィードバック技術などの指導力を有しています。

また、講師はビジネス分野に精通しており多様な分野のプログラムを指導することができます。プログラムによっては協会の役員が直接指導をいたします。

■学校教育への導入と活用

●ますます増えるプレゼンテーション機会

ゼミや卒論での発表、学会や課題研究での発表に限らず、通常の授業でもプレゼンテーションを行う機会が増えてきています。そして、サークル活動、ボランティア活動、インターンシップ、就職面接などでも「伝える力」が求められています。

●学生の受検が年々増えています

就職試験の面接でプレゼンテーションが課されるようになりました。また、入学試験でもプレゼンテーションによる選考や面接評価が導入されています。オンラインでの授業も増え、短時間で印象に残る高いプレゼンテーション力、非対面での発言や議論ができるコミュニケーション力は必須スキルです。

そこで、学生自らが受検をし、履歴書などに「プレ検資格取得」を記載することによって自己PRし、合格/内定を獲得しようと取り組む傾向が見られます。

大学や専門学校では、授業にプレゼンテーションを必須/選択科目として導入し、能力向上と資格取得を奨励する傾向にあります。



●社会で必要とされる能力

- ・社会人基礎力に「発信力＝自分の意見をわかりやすく伝える力」（経済産業省）
- ・企業が選考にあたって特に重視した点に「コミュニケーション能力」が16年連続第1位（日本経団連）

●大学入試に備える

大学入学共通テストやAO入試への対策にプレゼンテーション力習得支援は必須です。早い段階からプレゼン力を習得できるように、プレ検資格取得を目標に設定してプレゼンテーションを段階的に学習することは効果的です。

※プレ検資格取得をめざした授業への講師派遣や先生方へのプレゼンテーション指導教育などのご相談も承ります。

■学校での導入事例

●国立、大学院、理工系/農学系

研究や開発の専門性追求や就職にプレゼン力は必須能力と位置づけ選択必修科目としています。

履修成果～プレ検受検で資格取得。

●国立、教育大学

教師にとって授業はプレゼンテーションであるため、教職基礎技法のコミュニケーション能力習得を目的に選択科目としています。

●国立、体育大学

競技者/指導者として、相手の立場に立って口頭でしっかり伝えることができるスキル養成を目的に総合演習に導入しています。

●短期大学、文化系

社会で活かせる能力習得として必須科目の授業で導入しています。就職活動で強みにできるようプレ検取得を推奨しています。

●専門学校、ビジネス系

プレゼン授業の学習成果の測定としてプレ検を導入しています。

●県立、高等学校、理数/総合

課題研究の発表に向けた準備として特別講座を導入しています。就職や進学での強みにプレ検取得を推奨しています。

■ オンライン授業

学習方法の多様化に対応して、オンラインでの授業を実施しています。いつでもどこでもより多くの人々にプレゼンテーションの学習機会を提供するために日夜奮闘し続けています。日本国内だけでなく、海外とオンラインで繋ぎ、単なる学習機会を超えた人と人の交流を目指した取り組みも実施しています。



■ プレゼン出張授業・出前講座(オンライン/対面)

長らく“日本人はプレゼン下手”と言われてきました。諸外国では幼少の頃から自らの意見を述べるよう教育されています。しかしながら、日本ではプレゼン教育が十分に実施されないまま、グローバル教育として「自らの力で考えをまとめたり、相手が理解できるよう根拠に基づいて論述したりする思考力・判断力・表現力を評価する」ことが求められています。これでは、子供たちは国際社会で大きなハンディを背負ってしまいます。

最近、この問題に光が当てられるようになり、教育現場においてもプレゼン力が重視され、プレゼン教育の取り組みが注力されています。当協会では、学校でのプレゼン出張授業、教員への指導、プレ検導入など、子供たちのプレゼン力育成の実現に向けて機会提供をしています。

■ 授業/講座の実施プログラム概要実績

対象	科目/位置づけ	内容	進行形式
大学院 大学 短期大学	・プレゼン技法 ・プレゼン演習 ・集中講義 ・就職支援講座 ・ゼミナール ・コンテスト ・教員のFD	－伝わる話の構成方法 －説得力のある話の組み立て方 －聴き手を惹き付ける伝達技術 －言語と非言語 －パワーポイントを活用した効果的な資料作成と操作方法 －シナリオとスライド添削 －理解促進を高める授業計画と教授法	オンライン/対面 書籍精読 対話型講義 思考/討議 準備/リハーサル 伝える/聴く フィードバック 相互評価
専門学校	・プレゼン技術 ・就職支援講座	－伝わる基本構造 －相手が分かりやすく自分の考えをまとめる方法 －相手を惹きつける効果的かつ効率的な伝達方法	オンライン/対面 書籍精読 対話型講義 伝える/聴く フィードバック
高等学校	・課題研究 ・一般教養/特別講演 ・ゼミナール ・教員研修	－自分の考えをまとめた的確に分かりやすく伝える力の習得 －プレゼンテーション技術の基本を通して学習課題を抽出 －パワーポイントスライドの効果的な作成と活用方法	オンライン/対面 対話型講義 伝える/聴く フィードバック
中学校	・総合学習 ・特別授業	－調べ学習から自分の意見や考えをわかりやすくまとめる －相手に分かりやすく伝える	オンライン/対面 対話型講義 伝える/聴く
小学校	・学力向上サポート事業 ・総合学習 ・特別授業 ・国語 ・教員研修	－自分の意見(考え)を的確に伝える －学習で調べたことなどを自分のことばで伝える －視覚資料や機器を活用して伝える －原稿を見ずに聴き手の目を見て伝える －相槌を打ちながら目を見て聴く	オンライン/対面 基本学習授業 思考/準備 伝える/聴く フィードバック

協会の概要



伝える力を客観的に証明できる資格をと、2007年に資格制度を創設しました。

これまで140回以上の検定試験を実施し、多くの方々がプレ検受検を通して、プレゼンテーションの知識を学び、技術を習得し、日常の業務や学業に活かしてこられました。

近年では、企業のみならず、教育現場や入試などでもプレゼンテーション力が求められる場面は増加の一途をたどっております。

特定非営利活動法人国際プレゼンテーション協会で創設した「IPS認定プレゼンテーション力検定制度（プレ検）」をさらに幅広い層の方が活用できるようにと、一般社団法人を設立し検定試験業務および教育や支援の運営管理を移行しました。

今後も、専門機関として、公正・公明・公平なプレゼンテーション検定試験を提供し、最も信頼される組織を目指します。そして、世界の人たちが「伝え合う力」を向上させ、創造的で豊かな社会を築き上げることに貢献してまいります。

名称 英文名 [略称]	一般社団法人 プレゼンテーション検定協会 Association of Certificate Examination for Presentation [ACEP/アセップ]
代表理事	脇谷 聖美
事業目的	プレゼンテーションの考え方と正しい知識の普及および発展を図り、広く文化および教育に寄与することを目的とする
事業内容	(1)プレゼンテーションの検定試験 (2)プレゼンテーションの能力向上のための教育 (3)プレゼンテーションの指導者育成 (4)プレゼンテーションに関する講習会及び関連する各種イベントの開催 (5)プレゼンテーションに関する調査研究とその情報・資料の収集及びその提供 (6)前各号に掲げる事業に附帯又は関連する教材や書籍の出版及び販売 (7)前各号に掲げる事業に附帯又は関連する事業
所在地	〒105-0022 東京都港区海岸1-2-20 汐留ビルディング3階
連絡先 SNS	<div style="display: flex; justify-content: space-between; align-items: center;"> <div style="text-align: center;"> <p>公式サイト</p> <p>https://preken.jp/</p>  </div> <div style="text-align: center;"> <p>プレ検ブログ</p> <p>https://preken.jp/portal3/news/</p> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <div style="text-align: center;">  <p>#preken_acep</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>プレ検公式チャンネル</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>preken_acep</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>preken.acep</p> </div> </div>
所属団体	特定非営利活動法人 全国検定振興機構（正会員）
沿革	<p>2003年 特定非営利活動法人 国際プレゼンテーション協会 設立</p> <p>2007年 IPS認定プレゼンテーション力検定制度(プレ検) 創設 第1回3級プレゼンテーション力検定試験を実施 プレ検公式テキスト[新版]「パーフェクト・プレゼンテーション」出版(第1版:1995年)</p> <p>2008年 第1回2級プレゼンテーション力検定試験を開始</p> <p>2009年 オンライン受検システムの開発 「プレ検」の商標を登録</p> <p>2010年 プレゼンテーション力検定 オンライン受検開始</p> <p>2015年 プレ検公式ブログサイト開設</p> <p>2016年 一般社団法人 プレゼンテーション検定協会 設立 プレ検正式名称を「ACEP認定プレゼンテーション検定」に変更 第81回プレ検の運営より一般社団法人プレゼンテーション検定協会へ移行</p> <p>2020年 プレゼンテーション検定サイトの自動化を推進するために、サイトの全面改修を実施</p>

よくあるご質問

Q. プレ検の試験日程について教えてください。

A. プレ検は、毎月第一土曜から第二土曜までの8日間試験を実施しております。毎月の日程はプレ検公式サイトトップページの受検スケジュールにてご案内しております。

Q. 検定料の支払方法と支払期限を教えてください。

A. 支払方法は、個人受検の方は「クレジット決済」「コンビニ決済」「銀行振込」「郵便振替」からお選びいただけます。団体受検は、「銀行振込」でお願いいたします。また、支払期限は、検定試験の申込締切日です。「コンビニ決済」「銀行振込」「郵便振替」を選んだ方は、早めのお支払いをお願いいたします。

Q. 協会からのメールが届きません。

A. メール拒否、迷惑メールブロックなどの設定をされている場合、メールが届かない可能性があります。お使いのPC、携帯電話、スマートフォンのメール設定をご確認になり、協会からのメールが受信できるように設定してください。また、icloud、hotmail、outlookのメールアドレスをご利用の方は、メールが届かないケースが増えておりますので、他のドメインのアドレスをご利用ください。

Q. インターネット申込の内容確認や変更方法を教えてください。

A. マイページの「申込済試験一覧」にて、お申込み済みの検定試験がご確認いただけます。また、書籍や合格証明書の申込履歴は、マイページの「購入・支払い履歴」にてご確認いただけます。申込内容の変更につきましては、「Q.申込後に申込内容（級や受験日）を変更することはできますか？」の回答内容をご確認ください。ユーザー登録情報に変更があった場合は、マイページの「登録情報・変更」から変更手続きをおこなってください。

Q. 団体受検者の一覧は発行できますか？

A. 団体窓口ご担当者様のマイページにて、受検者一覧のダウンロードと印刷ができます。「申込済試験一覧」から「受検者確認」のボタンをクリックしてください。

Q. 合否結果はいつ届きますか？

A. 合否は受検期間終了後の翌水曜日に確定します。合否確定日に「【プレ検】合否結果確定のご案内メール」をお送りします。メールが届きましたら、マイページから結果をご確認ください。また、準3級・3級・準2級・準1級につきましては、合否確定日から翌月の受検期間開始までの間は、試験の点数の他に問題の正答結果もご覧いただけます。期間が過ぎますと、点数と結果、レーダーチャートのみの表示になります。

Q. 違う級を同時に受検することはできますか？

A. 同時に複数の級を受検することはできません。

Q. 請求書・領収書の発行はできますか？

A. <請求書>

個人受検では、請求書の発行は行っていないですが、団体受検として、会社からお申込みをいただきますと、請求書の発行→会社からのお支払いが可能です。

<領収書>

個人受検では、領収書の発行は行っていない。

- ・クレジット決済：決済時に発行された利用明細書（控え）が領収書の代わりとして支払を証明できます。当協会発行の入金確認メール添付にて用途も証明できます。
- ・コンビニ決済：お支払い時の利用控にかえさせていただきます。
- ・銀行振込/郵便振替：お振替時の利用控にかえさせていただきます。

Q. ID・パスワードを忘れました。

A. パスワードは再発行ができます。受検サイトのマイページから、「マイページをお持ちの方」の欄にある「パスワードを忘れた方はこちら」をクリックして、変更のお手続きをしてください。ログインIDは新規ユーザー登録完了後にお送りしているメール「【プレ検】ユーザー登録完了のお知らせ」に記載されております。メールが届いていないなど、IDがおわかりにならない方は、お問い合わせフォームから協会事務局までご連絡ください。

Q. 申込後に申込内容（級や受験日）を変更することはできますか？

A. 申込内容の変更はできません。検定料のお支払い前でしたら、申込締切までにお申込みをキャンセルし、再度、ご希望の級や受験日でお申込みをしてください。キャンセルのお手続きは、マイページの「購入・お支払い履歴」にておこなってください。なお、正式な申込受付後（決済完了後）の変更・キャンセル、他の受検回への振り替えはできません。また、納入された検定料の返金はできませんので、ご注意ください。

Q. 一部の受検者を個人払いとし、その他の受検者を団体払いにできますか？

A. できません。個人払いをご希望の受検者は個人受検として新たにユーザー登録をお願いいたします。

Q. 合格証書と合格証明書の違いについて教えてください。

A. 合格証書は、合格者全員が無料で受領できる証書です。マイページにてPDFが表示されます。合格証明書は、希望者へののみ、有料にて発行する証明書です。公的機関や雇用主などに提出いただけます。ご希望の方はマイページからお申込みください。ただし、団体受検の方は、合格証明書の発行はできませんので、ご了承ください。



一般社団法人
プレゼンテーション検定協会
Association of Certificate Examination for Presentation since 2016

豊かな人間関係と社会生活を・・・

みなさんが現代の社会に生きている限り、相手の立場に立って自らの考え方を伝えることは必須です。つまり、プレゼンテーション力を有している必要があります。

その能力を身につけるためには、プレゼンテーションを学び、実践しなければなりません。しかし、それだけでは不十分です。みなさんの持っている力を“見える化”し、周りの人たちにそれを発信しなければ、だれもみなさんの能力を認知してくれません。そこで、その方法として、プレゼンテーション検定の資格を取得することをお勧めします。

みなさんがプレゼンテーション検定の資格をもち、それを仕事に生活に学業に活かされることを願っています。

ブレ検創設者 八幡 紕芦史
YAHATA hiroschi

